

磐城時報

編輯 石城郡平野町新田十四
印刷 磐城印刷所
發行 磐城時報社
社址 石城郡平野町新田十四
電話 一四〇
代售 各書局
訂費 一月三圓 三月八圓 半年一五圓 一年二八圓
廣告料 一行十四字 每日五角 五日二元 十日四元 一月九元 一月以上者 另議
印刷 磐城印刷所

四倉漁港修築の 國庫補助確定す

着工は本年秋頃か 大喜びの四倉町民

石城郡四倉漁港修築問題は同町期成同盟會で運動の結果縣では昭和六年度豫算に修築費十四萬七千圓を計上したが國庫補助の件につき新妻四倉町長等が上京農林省に陳情の結果十九日國庫補助金を交付される事に決定し、右について菅波四倉町助役、新妻四倉漁業組理事等は交々語る。

庭球戦に優勝

平機 關庫

東京鐵道局管内優勝盃庭球戦は十八日、十九日の兩日水戸機關庫から花澤輝一、倉島一郎兩名参加し榮えある優勝盃を授けられた。平機關庫では十九日夜マルトモビル樓上で戦捷祝賀會を開催した。

七ツの少女 馬に蹴らる

石城郡江名町北町椎名モト(七)は十九日午後一時頃道路で遊戯中肥料吸み取り中であつた高久村神谷作鈴木専(二五)の馬が暴れ出したのに蹴られ瀕死の重傷を負つた。

濱三郡十一校に 御眞影傳達式

濱三郡に於ける百十一校に新任の任に當り在平各中等學校小に御下賜になつた御眞影は縣官學校五年生以上の生徒が磐城中が捧持して十九日午後三時五十分學校までの沿道に整列して奉迎三分平驛到着、平警察署島田警し警中講堂に安置二十日午前七部補等サイドカーに乗つて御眞影から各校長に傳達した。

平窪の火事

石城郡平窪村大字中平窪字高橋農業高秋盛之助方厩から二十日午前七時頃火災したが大事に至らず消し止めた原因は石炭殺の残火からである。

江名漁業觀櫻會

石城郡江名町漁業組合では十九日午後一時から同町南町公園で觀櫻會を開催した。

民政黨その他發起 比佐參與官の祝賀會

二十六日松ヶ岡公園で

石城郡選出代議士比佐昌平氏が陸軍參與官に任命されたので石城民政黨では大喜びで磐城中學校同窓會並に石城在郷軍人分會と共同主催で来る二十六日佐比代諸士を迎え松ヶ岡公園で祝賀會を開く事になった。

紺屋町で 二青年表彰

平町字紺屋町では十九日優良國民として田巻隆一方高木壽一郎氏、大谷久夫氏方大谷文一氏を表彰し退職役員青木兼太郎、山野邊大五郎兩氏に紀念品を贈呈した。高木壽一郎氏の表彰状左の如し

石城地方の春蠶は 前年の一割五分減 糸價暴落のため

石城郡内の春蠶繭立は來月五、六日から大體十日頃が最盛期となる模様である。糸價崩落により前年度の一萬八千枚に比し、一割五分減は見込まれてゐるので飼育中の相場により或るは中途にして棄てる様な結果をまねがぬとも限らないため收結核豫防並に營業分業實施運動を協賛した。

泥酔者檢束

好問村鈴木長治郎(五六)は十九日午後八時頃泥酔して松ヶ岡公園を徘徊し花見客から金錢を強要してゐるのを平署巡査が見檢束した。

花見歸りに 老爺墜落慘死

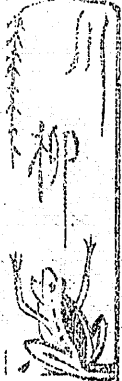
前放課後片頭に立ち良き店員として活動し縁兄の業務に従事し終始倦む處なし聞くなり十七日午後八時頃松ヶ岡公園で花見をなし歸途大館地内を通行中泥酔して居たため足を這らし六十尺の斷崖から線路に墜落し、頭蓋骨を粉砕して慘死した。

荒廢桑園 改植に着手

石城郡下の荒廢桑園は郡養蠶同業組合が豫定の調査により二百四十町歩を數え郡下總反別一千八百町歩から見れば非常な高率を示してゐた。就中三坂、永戸川前、上遠野、田人等山間部地方には多く大略三百町歩を二ヶ右摺つてゐる。

好問から北海道まで 母を尋ねた少年兄弟

二十日午前二時三十分平驛着急行から降りた十歳前後の兄弟らしい少年二人が好問村小田炭礦古井飯場田山仙治受取り北海道空知郡砂川村三井炭礦中堀龜吉差出と記した木札を胸に下げてホームを徘徊してゐるので平驛前派出所巡査が事情を聞くと右前記仙治長男良男(十一)同二男力太郎(八)の兩名で昨年春母と生別れ父の手で育てられて居るが、母戀しさの余り北海道に居るといふ事を聞いたので家出して北海道に渡り捜し廻つたが母を發見する事が出来ず途方に暮れてゐるのを父仙治の知人に募れてゐるのを父仙治の知人である前記龜吉に廻り合ひその無謀を諭された上前記の如くにして送りかへされた事判明、實父好問村田山仙治を呼び出して引渡した。



大谷五花村先生選

亡國にしては過ぎたる山の色の氣の襲ふテントへさす夕陽 同 人
山火事を見て炭焼は寝てしまふ 東天紅
富士山を右に左にホチムー 同 人
別荘地海に突き出た低へ山 同 人
山吹が冠さる茶屋のあふれ井戸 角 巖坊
雲 渡邊天護選
灰色の雲へ淋しい里心 東天紅
初空に昔を映す飛雲閣 同 佛
雲足へ船頭急ぎ楫と 新 平
雨の旅雲から下の富士を見る 同 人

開花の藝妓が 巧妙な前借詐欺

他人の名義で住み込み 逃走せんとし捕はる

平町新田町藝妓置屋開花事惹き於て平署員に捕えられ取調べの際方抱藝妓山形縣東置屋郡生れ結果同人は開花に抱えられる際遠藤ヨシ(十八)は前借一千百圓全然本籍及び本名を秘し學校友で一週間程前抱えられたが去る逢の名を用ひて藝妓許可證を得十六日逃走を企てた處を平驛にたもので同様手段で東京府下池袋

營林署觀櫻會

原町營林署にては恒例に依り十九日陣ヶ崎見本園内に於て觀櫻會開催した。

相馬支局通信

説教強盗

双葉に入る

既報の如く相馬郡小高町、金房福浦等を荒し廻つた説教強盗同人らしきもの十六日午前一時野村矢口理助方に押し入り例の如く短刀を突きつけ理助を脅し五圓入りの墓口を強奪逃走した急報により原町、浪江兩署で目下殿探中。

石神村人會

相馬郡

石神村出身者の原町在住同村人懇親會は廿九日天長の佳節を期し旭公園折々澤湖畔新築の湖月樓上に於て開催する。

三業組合觀櫻會

相馬郡小高町三業組合にては廿日午後一時から妙見社前に於て觀櫻會を催す。

俸給著大困憊

相馬

郡新地村の村税滞納は昭和四年度來約一萬二千圓の巨額に達し學校教員及び役場吏員の俸給も一月以來未拂といふ不成就で村當局も目下汗だくで整理中である。

夫婦して逃走

山形縣上ノ山日雇業石川文太郎(三三)内縁の妻太田を以て(三〇)は十日程前無断で家出したが平町林木町田中五三郎方に同居してゐる事を突き止め十七日來平の田中方で妻を以て會ひ相談の結果炭礦方面で共稼ぎする事に纏まつたので、そでは現金三圓二十錢在中の墓口を文太郎に渡したところ文太郎はその金を花

見で全部費ひ果し今更面目ないと今度は文太郎が逃げ出したのでそでは驚いて十八日平署に捜索方願ひ出た。

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒 マルソー・アランク・白 1.10 マルソー・ルージュ・赤 良品にして安價賣行飛ぶが如し 西村屋藥局

毒梅毒 腸胃 専門 皮膚病 婦人病 淋病 腸胃病 胃腸病 院醫科 院醫科 (七〇一話電) 町南町平

十八日より大公開 短五日間限 時！正に絶好の映畫シーン！ 來りませ春宵の行樂に！

マキノが確信を以て世に問ふ空前の超特作映畫 ▲各社競映中の白眉 原作長谷川伸・監督勝見正義 前篇 紅 蝠 十二巻

美男 澤村國太郎主演 松浦榮枝 金子新 共演 新入社 若葉蘭子・室町榮二郎 第一回出演 マキノ特作現代映畫 秋田伸一・櫻木梅子主演 嵐山小唄 小唄映畫 しくれ茶屋

帝キネ十週年記念超特作 斯界の巨匠 志波西果 監督 明石緑郎・松本泰輔大熱演・帝キネ新幹部俳優總出演 マキノ獨得エロクロ時代劇 次週公開 破戀痴外道 十二巻

小鳥店譲りたし 商品、附屬道具一式 居退の儘にて安く譲る 御希望の御方は來る二十日迄 田町ベニヤに御來談下さい

謹告

各位益々御清祥の段奉慶賀候陳者今般顧客本位を主眼とし同業相互の向上を計り

平三業 料理店組合 平三業 保健康組合 平三業 理店組合 右三組合一丸となり茲に組織し 平和會と稱し平素の御最貴顧客に酬ひたく今回開業せる藝妓置屋「松の屋」を專屬とし藝妓の御需に應じ申候間何卒(舊に倍し御愛顧の程偏に奉懇願候先は御披露旁々御挨拶まで如斯に御座候也 敬白

平和會事務所 平町南町十七番地 電話四三九番

貨切御用命ハセヒ 三井自動車部へ 電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行 平町田町(電話五二三番)

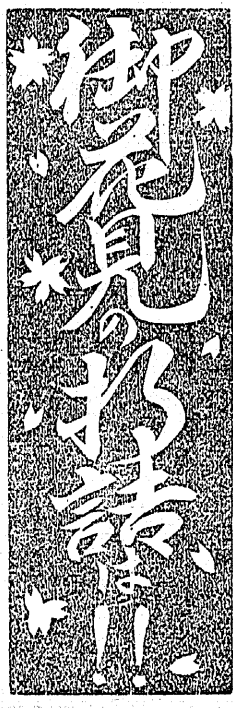
高久病院 醫學士 高久 忠 赤羽 雄 藥劑士 佐竹 菊 内科小兒科 外科花柳病科 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平看護婦會 會長 清野キヨ 平町字南町(電話三〇七番)

例年の通り 四月十日より廿日迄特賣

魚清のままのて

おさしみ。おすし 御一人前 鐵火巻。鐵火井 金廿錢均一 山かけ。ねぎまなべ 御さしみに限り一人前 一口三人前以上は 十七錢づゝ



御肴折詰一人前貳拾錢より 御すし折詰同 貳拾錢より 魚清自慢の親子。天井。ちらしは二十錢で満腹味は 百パーセント 御刺身。吸物。御飯付二十五錢 平町二丁目警察署通り

日本料理せ印魚清食堂 電話六三三番

勿來製氷會社 魚清水卸部 電話四六七番

公園内 魚清賣店 電話四六七番